

仙 台 市 社 会 福 祉 審 議 会 会 議 録

標記会議について、協議の結果直接の議論の必要性が低いと判断したことから、一堂に会しての開催とはせず、本会議の資料送付と書面による表決をもって、下記により開催した。

1 開催日時

令和8年4月23日(木)発送～令和8年5月15日(金)締切

2 送付委員

仙台市社会福祉審議会委員 62 名

3 議事

仙台市社会福祉審議会運営要領の改正について

【改正の内容】

児童福祉専門分科会の庶務を行う組織について、「こども若者局こども家庭部総務課」から「こども若者局総務課」へと変更するもの。

4 報告事項

- (1) 令和8年度 健康福祉局・こども若者局の組織・予算・主要事業について
- (2) (仮称) せんだい支えあいのまち推進プラン 2027 の策定について
- (3) 仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

5 書面表決結果

- (1) 議事「仙台市社会福祉審議会運営要領の改正」について
「承認する」35名、「承認しない」0名、未回答26名（議長である委員長分除く）
以上、「承認する」多数により、本議事について承認することとする。

- (2) 議事及び送付資料の内容についての質問・回答・意見

(ア) 質問・回答

【瀬戸 理音 委員】

質問①：資料4「令和8年度 健康福祉局・こども若者局の組織・予算・主要事業」p.6「再犯防止推進」について20万の予算で進めていく取組の具体的内容を知りたい。

回答：立ち直りハンドブックの増刷や再犯防止推進セミナーを開催することとしている。予算の内訳は、ハンドブックの増刷に要する費用として10万円、再犯防止推進セミナー開催に要する経費として、会場費2万7千円、講師謝礼代7万7千円である。

質問②：資料4「令和8年度 健康福祉局・こども若者局の組織・予算・主要事業」p.8「強度行動障害支援者養成研修費補助」について、当法人は放課後デイや生活介護事業も行っている

が、症状が重い利用者を支える支援者、家庭は本当に大変なおもいで対応している。困っている人は増えているはずなのに、減額するのはなぜか。

回答：令和３年度から令和６年度の実績額に基づいた積算により予算を設定したものである。本補助の必要性について認識しており、活用状況に応じた予算の確保に努めてまいりたい。

質問③：資料４「令和８年度 健康福祉局・こども若者局の組織・予算・主要事業」p.8「こどものいのちつなげる事業」について、『関係機関』とは、どこを想定しているのか。

回答：庁内関係各課の他、官民間問わず自死リスクの高いこどもの支援ニーズを充足する機関を想定している。

質問④：資料４「令和８年度 健康福祉局・こども若者局の組織・予算・主要事業」p.18～R8において、「ヤングケアラー」に重点をおくという方針は理解できる。こども若者施策に関する予算は、前年度比で３０％強増となっているが、ヤングケアラー以外の予算はほぼ減額となっている。不登校に関する予算としては、p.23「ふれあい広場サテライト」等で予算立てしているものの、不登校支援は、教育課題ではなく“福祉的課題”ヘシフトしている現状を踏まえ、こどもだけでなく、背景にある親への支援やすき間を埋めている民間団体へのフォローを含めた予算立てを強く希望する。

回答：不登校児童生徒及び保護者への支援に係る事業については、教育委員会において、フリースクール等学校外施設に通所する児童・生徒に対する交通費助成や出席認定にかかる連携、多様な学びの体験活動及び保護者支援活動等への助成等の取組を行っているとともに、こども若者局においても、ふれあい広場の運営のほか、困難を抱える家庭への支援として、こどものためのサードプレイス事業等の取組を行っている。

今後とも、教育委員会や市役所内はもとより、関係機関の皆様との連携・協力が不可欠であるとの認識のもと、こどもたちのすこやかな成長を支えるため、こどもたちの居場所づくりや多様な学びの支援に取り組んでまいりたい。

(イ) 意見

【安孫子 雅浩 委員】

意見①：資料５「(仮称) せんだい支えあいのまち推進プラン 2027」の策定にあたっては、今そしてこれからの地域の福祉力・防災力・防犯力の現状を十分に精査した上で、より現実的で実施可能性の高いものにしていくことが望まれる。策は作れども担い手も組織も動かないのでは不十分である。

【男澤 貴子 委員】

意見②：少子高齢化や社会的孤立・こころの健康問題など地域課題が複雑化する中、健康福祉

局・こども若者局が連携し、切れ目のない支援体制を推進することは大変重要であると感じる。

薬剤師・薬局も、医薬品の提供だけでなく、こどもから高齢者まで地域住民に最も身近な医療食として、予防啓発・健康相談・服薬支援・見守り活動・在宅医療等を通じ、地域包括ケアや地域に寄り添った活動を進めてまいりたい。

今後も行政・地域の関連団体が連携し連携し誰もが安心して暮らせる地域づくりに協力し、貢献してまいりたい。

【高橋 礼子 委員】

意見③：欠員地区をカバーしている民生委員児童委員に対して、活動費を上乗せして支給する予算をいただき、感謝を申し上げる。

6 署名委員

阿部重樹委員長、庄子清典委員

【配布資料】

- 資料 1 仙台市社会福祉審議会委員名簿
- 資料 1-2 仙台市社会福祉審議会委員名簿（専門分科会別）
- 資料 1-3 仙台市社会福祉審議会委員名簿（部会別）
- 資料 2 令和 8 年度仙台市社会福祉審議会事務局名簿
- 資料 3-1 仙台市社会福祉審議会運営要領の改正について
- 資料 3-2 新旧対照表
- 資料 3-3 仙台市社会福祉審議会運営要領（案）
- 資料 4 令和 8 年度 健康福祉局・こども若者局の組織・予算・主要事業
- 資料 5 （仮称）せんだい支えあいのまち推進プラン 2027 の策定について
- 資料 6 仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

書面決議書及びご意見・ご質問用紙